

西方大砂丘も訪れる アルジェリア大周遊 14日間

出発日	旅行代金
12月7日(土)	579,000円
2月8日(土)	579,000円
一人部屋利用追加代金	119,000円

- ◎利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ。または裏面リスト内航空会社を利用。
- ◎添乗員：羽田空港より全行程同行します。
- ◎食事：朝食11回・昼食12回・夕食11回(機内食除く)
- ◎ホテル：スタンダード～ファーストクラスの厳選ホテル。詳しくは、お問い合わせ下さい。
- ◎海外空港諸税：旅行代金に含まれます。
- ◎最少催行人員：10名(最大20名)
- ◆旅行代金以外に下記費用を別途申し受けませ◆
- ◎羽田空港使用料・保安サービス料：3,050円
- ◎国際観光旅客税：1,000円
- ◎燃油サーチャージ目安：76,000円(2024年6月現在)
- ◎査証代(アルジェリア)：4,800円
- ◎査証取得代行手数料：4,400円(税込)
- ◎写真：要2枚(4cm×3cm)
- ◎旅券残存有効期間：日本出国時6カ月以上
- ◎査証欄余白：見開き2頁以上必要

◆コースのポイント◆

ティムガット遺跡、ジェミラ遺跡など北部の珠玉の遺跡群や独特のオアシスの町ムザブの谷など、6カ所の世界遺産を訪れます。その後、迫力の西方大砂丘群-グラン・エルグ・オキシデンタル-にもご案内する充実の内容です。



オラン スペインやフランスの影響を色濃く残すアルジェリア第二の都市。開放的な雰囲気に溢れ、アルジェリアの人たちはこの町を「シンシティ(享楽の町)」と呼びます。



都市名	スケジュール
1 東京	■夜、羽田空港より、空路、イスタンブール乗り継ぎ、アルジェリアの首都アルジェへ。 (機中泊) 日 日 日
2 アルジェ	■午前、アルジェ着。着後、アルジェ市内観光へご案内します。独立記念塔○、映画「望郷」の舞台となった世界遺産①に指定される旧市街カスバ○、海を望む高台に建つノートルダム・ド・アフリク大聖堂○など。 (アルジェ泊) 日 日 日
3 アルジェ(ベニ・ハマッド)セティフ	■午前、セティフへ向かいます。 ■途中、世界遺産②にも指定される、中世の隊商路として栄えた要塞都市ベニ・ハマッド○を観光します。 (セティフ泊) 日 日 日
4 セティフ(ジェミラ)バトナ	■午前、世界遺産③ジェミラ遺跡○を観光。保存状態の良いローマ遺跡で、ジェミラとはアラビア語で「美しい」という意味です。博物館○も見学します。 ■午後、バトナへ。 (バトナ泊) 日 日 日
5 バトナ(ティムガット)コンスタンティーヌ	■午前、世界遺産④ティムガット遺跡○の観光。アルジェリア最大のローマ遺跡でその保存状態の良さから『アフリカのポンペイ』と呼ばれています。 ■午後、東部の中心地コンスタンティーヌへ。途中、塩湖○、メドラ・セン(古代ヌミディア王の墓)○に立ち寄りませす。 (コンスタンティーヌ泊) 日 日 日
6 コンスタンティーヌアルジェ	■午前、コンスタンティーヌ市内観光。旧市街○、シディ・ムシド展望台○などにご案内します。 ■午後、空路、アルジェに戻ります。 (アルジェ泊) 日 日 日
7 (ティバサ)(シェルシェル)アルジェガルダイア	■終日、アルジェ郊外の観光へ。モーリタニア王家の墓○、ローマ時代の水道橋○、地中海を背景に広がるフェニキア及びローマの世界遺産⑤ティバサ遺跡○と博物館○、またティバサ近郊の港町シェルシェル○にご案内します。 ■時刻～夜、空路、ガルダイアへ。 (ガルダイア泊) 日 日 日
8 ガルダイア滞在(ムザブの谷)	■午前、世界遺産⑥ムザブの谷の観光にご案内。11世紀にベルベル人のムザブ族が築いた集落が並びませす。立方体に造られた家々はパステルカラーに塗られ、中心にはモスクが配置される計画都市であります。中心の都市ガルダイア○、1013年に築かれたムザブ最古の町エル・アーティフ○、かつての指導者シディ・アイサの墓○、聖都ベニ・イスゲン○などをご覧いただけます。 (ガルダイア泊) 日 日 日
9 ガルダイアエル・ゴレア	■午前、エル・ゴレアへ向かいます。 ■午後、エル・ゴレアの観光。フコー神父の墓○、クサル(城塞跡)○、先史博物館○など。 (エル・ゴレア泊) 日 日 日
10 エル・ゴレアティムムーン(西方大砂丘)	■午前、車窓に広がる砂漠とオアシスの光景をご覧いただきながら、西方大砂丘南端のオアシスの町ティムムーンへ。 ■着後、西方大砂丘グラン・エルグ・オキシデンタル○にご案内します。 (ティムムーン泊) 日 日 日
11 ティムムーン滞在	■終日、赤土の家が特徴のオアシスの町・ティムムーンの観光。クサル(城塞跡)○、旧古城○、マーケット○など。また、近郊の村○も訪れます。 (ティムムーン泊) 日 日 日
12 ティムムーンオラン	■午前、ご休憩下さい。 ■午後、空路、アルジェリア第二の都市オランへ。 (オラン泊) 日 日 日
13 オラン	■午前、アラブ風建築と西洋風の街並みが混在するオラン市内観光へ。国立劇場○、パシャ・モスク○、街を一望できるサンタクルス要塞○、オスマン時代のベイ(総督)の宮殿○など。 ■午後、空路、イスタンブール乗り継ぎ、帰国の途へ。 (機中泊) 日 日 日
14 東京	■夜、羽田空港着。通関後、解散。

※場所柄、ホテルの設備は国際レベルには及ばず、簡素なものとなります。浴室はシャワーのみが基本となり、一斉にシャワーを使用すると一時的にお湯の出が悪くなります。
※移動のバスは中型サイズになる場合もございます。予めお含みおき下さい。
※ムザブの谷や各遺跡において、カメラ、ビデオ撮影に制限が設けられる場合がございます。
※アルジェリア国内には、双眼鏡やプロ仕様の大型カメラ・ビデオは持ち込みが禁止されています。
※アルジェリアは、外国人観光客の受け入れ体制が未だ十分ではございません。政府都合・命令により、利用ホテルや観光内容が変更になることもございます。



西方大砂丘-グラン・エルグ・オキシデンタル- アルジェリアで2番目の規模の砂丘群。砂丘は風によって形を変え、高いものでは約120mの規模に達することもあります。アルジェリアの砂丘の特徴として、周りを縁取るように敷かれた幹線道路を少し内部に入るだけで、簡単に安全に大砂丘群をご覧いただくことが出来ませす。



ティムムーン サハラの隊商交易の要衝として栄えたオアシスの町。赤土で造られた建築物が多いため、「赤い町」と呼ばれます。スーダン様式の霊廟、モスクなど、北部とは異なる文化がご覧いただけます。

イヤホンガイド・サービスを使用します。 昼食時、夕食時にドリンク・ウォーターをサービスします。

